

## 口頭発表 目次

会場：新庄市民文化会館 大ホール

No.	時間	発表題名	発表者所属	発表者
特定テーマ《冬期に生じる災害の対応①》				
1	9:45～10:00	高知自動車道笹ヶ峰トンネル周辺での積雪判断基準について	一般財団法人 日本気象協会	石川 明弘
2	10:00～10:15	道路交通における雪対策の経済的観点からの評価に関する研究	国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 建設経済研究室	齋藤 貴賢
3	10:15～10:30	気象モデルによる最上地方周辺の降雪量推定手法に関する研究	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター	根本 征樹
4	10:30～10:45	北海道内における国道通行止めと吹雪量の関係に関する一考察	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所	大宮 哲
《休憩》				
特定テーマ《冬期に生じる災害の対応②》				
1	10:55～11:10	局所的降雪に対する独自気象技術について	株式会社ウェザーニューズ	戸部 明
2	11:10～11:25	局地的な凍結に対する独自気象予測の提供	株式会社ウェザーニューズ	竹内 茜
3	11:25～11:40	X-MPLレーダによる降水粒子判別と道路雪氷対策への利用について	一般財団法人 日本気象協会	鴻野 繁和
4	11:40～11:55	冬期情報サイトの取り組み (道路管理者間の冬期道路情報共有)	北陸地方整備局 北陸技術事務所 雪害防災減災課	松澤 嘉啓
5	11:55～12:10	北陸雪害対策技術センターの広報と情報提供について	北陸地方整備局 北陸技術事務所 雪害防災減災課	池 伸明
《昼食・休憩》				
特定テーマ《冬期に生じる災害の対応③》				
1	13:00～13:15	気象メッシュデータを用いた路面雪氷状態予測の広域化に関する一検討	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所	齊田 光
2	13:15～13:30	雪氷災害予測システムの開発 ～多様化する雪氷災害への対応～	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター	中村 一樹
3	13:30～13:45	国道112号月山道路の冬期交通確保の取り組み H29年度 開通以来最高の最大積雪深595cmを記録	東北地方整備局 酒田河川国道事務所 月山国道維持出張所	館山 幸大
4	13:45～14:00	近年の大雪交通障害を踏まえた除雪体制に関する一考察	開発技建株式会社	飯田 雅之
5	14:00～14:15	主要地方道米沢飯豊線における雪崩災害対応について	山形県 置賜総合支庁建設部 西置賜道路計画課	安部 吉広
《休憩》				
セッションⅡ《雪国文化と冬期観光》				
1	14:40～14:55	インフラツーリズムを利用した冬の道路管理の広報について	東北地方整備局 酒田河川国道事務所 月山国道維持出張所	今野 慎也
2	14:55～15:10	冬期観光資源としての樹氷の鑑賞期間 ～最近21冬期の推移～	日本地下水開発株式会社	沖田 圭右
3	15:10～15:25	暖房と無散水消融雪による地下水カスケード利用の紹介	日本地下水開発株式会社	加藤 渉
4	15:25～15:40	小学校における雪学習授業の展開と教育課程への位置づけ ～雪学習カリキュラム・マネジメントの提案～	札幌市立屯田北小学校	朝倉 一民
5	15:40～15:55	港湾環境整備事業と連携した雪処理施設について	青森県 県土整備部 道路課 維持補修グループ	今井 健
《休憩(会場設定替含む)》				